

圏外のアンテナ



[足して2025]の巻

小学校の頃、暗記させられた九九。答えを全部足したら、2025になるという。今年じゃないか！

実際にやってみよう。一の段から、九九の答えは、順に、1、2、3、4、5、6、7、8、9。

次は2の段。順に、2、4、6、8、10、12、14、16、18。

教室の壁に貼ってあった九九の表を思い浮かべてみてほしい。

つづいて、3の段、4の段、5の段、6の段、7の段、8の段。そして最後に9の段の最後の数字81まで足すと、（ふうっ。）合計2025になるのである。

こう見えて、数字マニアのわたしは、この話を耳にした時、心がいたくザワついた。陰謀論では片付けられない壮大な宇宙の意志を、今年という年に感じてしまったからである。

ところで、先ほどの足し算の方法については、SNS上でも話題になっていた。各段の小計を出してからプラスする方法が普通だろうが、その他にも、目の覚めるような計算のショートカット法がいくつも考えられるので、数字好きな方はぜひトライしていただきたい。

ちなみに、X（旧ツイッター）に投稿されていた計算方法の中で、わたしが一番気に入ったのは、これ。

「九九の平均は25。数字は全部で81個あるから、 $25 \times 81 = 2025$ 」という超シンプルなもの。

この考え方、頭よくないですか？

「九九の平均が25だってどうしてわかるの？」っていう意見があるかもしれない。

でも、九九の表のまんなかにあるのは25。九九の表の数字は、ぜんぶ等差で均一に並んでいるから、まん中の数字25が平均に決まっている。

10日前から、わたしたちの前に飛び込んできた不思議な数字2025。

言霊（ことだま）とよくいうが、数字にも力が宿る。2025はミラクルな可能性を秘めている。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

=2025年1月10日掲載=